

今こそ「前へ！」

# 明大生のチカラ



先行きの見えない時代。近い将来の大学生活を思い描くことができない受験生も多いのではないのでしょうか。

明治大学には、コロナ禍に負けずそれぞれの課題に懸命に取り組む学生がたくさんいます。

特色ある活動に主体的に取り組んだ明大生のお2人にスポットを当て、その思いを聞きました。



完成した明治大学SDGsコーヒー

— 大変だったことは、プロジェクトのほとんどのメンバーは初対面、国際貢献と街づくり、コーヒーなど関心のある分野はバラバラで、コーヒーがうまくつなげられたプロジェクトになっていきました。コロナ禍でコミュニケーションが特に難しくなりましたが、空いた時間にオンラインでゲームをするなど何気ない時間を共有し、徐々に信頼関係

— 受験生にアドバイスをお願いします。なりたいために近づくには、環境や人との出会いが重要と実感しています。明治大学のひとつが大学選びです。明治大学はアウトホームで、やりたいことがある人を応援してくれる雰囲気も制度も充実しています。時間を共有し、徐々に信頼関係

— プロジェクトについて教えてください。島田ゼミでは国際貢献から地域の街づくりまで幅広く学べます。私は幼少期から国際支援に興味があったので、1年生から入室できる基礎ゼミの段階から所属しました。明治大学のキャンパスがある神保町は喫茶店が有名で「コーヒーの街」とも呼ばれています。そこに途上国の貧困問題などSDGsの課題解決を掛け合わせ、ソーシャル・ビジネスを目指すのが神保町発 明治大学SDGs「コーヒープロジェクト」です。

— コーヒーの流しは。3年生だった去年9月にスタート。神保町に本社のある株式会社「コーヒー」代表取締役社長、川島良彰氏のフューアトリードという概念自体をなくす」という考えに感銘を受け、協力をお願いしました。価値を見合った値段で取引すれば「フェア」という概念そのものが必要なのです。コーヒー豆はコロンビアの農園で障がい者の方々が育てたもので、売り上げは現地への支援になります。おしいさも重視した、生産者にも消費者にも「いい豆」です。ロゴやパッケージなども生で作り、翌年1月に発売できました。

— 今後に向けて経験が役立ちそうです。国際支援をしたいと選んだ学部ですが、コーヒープロジェクトを通じて、社会貢献という大きな枠に視点が広がりました。卒業後はデジタルマーケティングの会社に進みます。情報発信スキルを身につけながら、国際支援・社会貢献の視点を忘れず、モットーを「コーヒープロジェクト」で伝えていきたいと思います。

— 商品の反響は。大学のオンラインショップで発売後、わずか一週間で完売しました。その後何度も追加発注をかけたのですが、味についても、コーヒーが得意でない方から「ブラックでもおいしく飲める」と言っていたり、おもしろい反応でした。たまたま、ここがスタート地点だと思っています。これからどうやって多くの人たちにSDGsのコーヒーのメッセージを届けるか、どうやって活動を継続し売上げをコロナ禍の農園に届けていくかしっかりと考えたいと思います。

— 商品開発の経験は。大学のオンラインショップで発売後、わずか一週間で完売しました。その後何度も追加発注をかけたのですが、味についても、コーヒーが得意でない方から「ブラックでもおいしく飲める」と言っていたり、おもしろい反応でした。たまたま、ここがスタート地点だと思っています。これからどうやって多くの人たちにSDGsのコーヒーのメッセージを届けるか、どうやって活動を継続し売上げをコロナ禍の農園に届けていくかしっかりと考えたいと思います。



受験生にひとこと  
先方も職員の方も、まるで先輩のような距離感で相談に乗ってくれるのが明治大学。皆さんとの出会いがここで4年間通越させることに感謝しています。

世界と地域の課題解決へ！  
「明治大学SDGs「コーヒー」の挑戦」  
情報コミュニケーション学部 島田剛ゼミナール4年 中山優衣さん



実際のCG作品放映の様子

— 制作のきっかけは。先端メディアサイエンス学科では、オンライン上のコミュニケーションツール「Zoom」で先方から先輩、新入生まで全員で日々交流しながら、授業・最新の日々交流、何で受けてくれる雰囲気がある。今後は研究や将来に向けてとでもある宮下芳明教授、「新卒の3D大ネコが面白くて、同じような動画を作れないかな？」と何気なく発信したんです。

— 印象的だった授業は。総合数理学部では、文系科目を含め幅広い講義が受けられます。例えば心理学では記憶や知覚のメカニズムといった、今後の制作活動に生かせるような授業が多かったです。また、心理学者が作ったことを学びました。人間が社会をどう見ているのかを知るのは、コンピュー

— 街頭ビジョンで放映されたCGは明治大学創立140周年のロゴやメッセージが飛び出して、回転する大迫力の作品でした。入学1年目でこんな機会をいただけるなんて、さすがに想像していませんでした。想定通り立体に見えるか、本当に緊張しました。うまくいってほしいです。

— 本学生活が充実しているように感じます。先端メディアサイエンス学科は、新しいメディア技術を駆使した体験を生み出している学科です。実際に入ってみたいという人が、VRという新しい表現手法に取り組むために参考になりました。

「3D大ネコ」で話題になった新宿駅東口の街頭ビジョンに、8月上旬、明治大学のロゴマークが飛び出す立体的なCG作品が放映されました。制作したのは、なんと学部1年生。総合数理学部先端メディアサイエンス学科の小野源太さんです。錯視(目の錯覚)を利用し、肉眼で見ても飛び出して見えるCG作品づくりは、チャレンジングな風土が後押しになったようです。

4日間、パワソフで曲面ディスプレイを再現して、実際に3Dに見えるか確認できるよう工夫しました。毎日、宮下教授にお見せして、動きながら改良していきまし。作っている途中の段階で、大学公式の広告として放映を決めた。ただ、作成開始から1週間ほどで実際に街頭に流れ始めました。その時はどどんと進んでいくスピード感が楽しかったです。応援してもらえることが本当にありがたかったです。

話題の街頭ビジョンに飛び出すCG作品を制作  
総合数理学部 先端メディアサイエンス学科 1年 小野源太さん



受験生にひとこと  
宮下芳明教授、中村聡史教授らTwitterで発信している先生をフォローし、研究や人柄に触れていたのも志望校選びに役立ちました。

— 受験生の皆さんにメッセージを。志望校選びでは、実際にどんな人がいて、どんな研究ができるのかという視点で考え、例えばSNSで先方の方をフォローして、学科や研究室の温度感を感じるようにしていました。今、それは間違っていないかなと感じています。挑戦を応援してくれる環境なので、前に進みたいと考えている人はぜひ入学して一緒に勉強できるようにしたいです。



活発なやり取りが続く Slackの画面



学部がわかる 9つのポイント 公開中



2022年1月6日 一般選抜Web出願受付スタート!

※ 詳細等は、一般選抜要項(明治大学ホームページにて11月上旬公開予定)を必ずご確認ください。

140th 明治大学

明治大学は、2021年に創立140周年を迎えました。

〒101-8301 東京都千代田区千代田 神田駿河台1-1 TEL.03-3296-4545(代) https://www.meiji.ac.jp/